

4つの常任委員会に付託された議案等の審査経過並びに結果について、3月23日の最終日の本会議において、各常任委員長よりそれぞれ報告されました。ここに掲載したのは、その報告の概要です。

審査の報告

総務

各常任委員会の所管部署
 総合政策部、総務部、会計課、
 消防本部、議事事務局、選挙管
 理委員会、監査委員、公平委員
 会、固定資産評価審査委員会

都市計画道路・新曾川口線の事業化に向けて



▲事業化が進められている都市計画道路・新曾川口線

それらを受けて、当該都市計画道路は、長期未整備路線であることから、16年度の早い時期に県に要請をし、事業化に向けての課題整理等について県と協議をしていきたいとの説明がありました。

「用地交換に伴う戸田競艇場駐車場の競争を求め陳情」

競艇場周辺対策について市長からは、市として、従前は、必ずしも対応ができていませんでした。ついては、これら周辺問題について総合的に調査を実施し、その上で、より効果的な対策を実施するよう、市として戸田競艇組合に要請していきたいとの説明がありました。委員会としては、競艇場

「財産の交換について」

都市計画道路・新曾川口線について県との折衝では、県では、道路整備に関する客観的な指標を、本年8月に作成・公表する作業を進めています。また、長期未整備となつている路線等を対象に、平成16年度に都市計画道路の見直しを適切に行うためのガイドラインを策定していきたいという考え方が示されました。

文教・建設

都市整備部
 教育委員会

10月からの駐車場有料化への対応は道満グリーンパーク



▲来園客でにぎわう道満グリーンパーク

滞納額の多少にかかわらず、義務を果たさざるが義務を果たさせることが必要であり、全滞納者に対して、訪問あるいは呼び出す等、直接話し合う場を持つよう、検討してもらいたいとの意見がありました。

「16年度一般会計予算」
 土木費では、ちびっ子プールの管理運営にシルバール材センターの活用等の質問がありました。執行部からは、ボランティアの活用など、いろいろな選択肢があると思うが、各町会に開設の有無を確認し、対応したい旨の答弁がありました。教育費では、児童生徒の安全対策として、「子どもの安全を守る日」の取り組み内容を聴取するとともに、携帯用防犯ブザーの故障・電池切れ対応、ホイッスルを持たせることや、学校内での安全確保のための逃げ道などの検討、「こども110番の家」の増設を要望する意見がありました。

「都市公園条例の一部を改正する条例」
 駐車場以外の路上駐車対策については、誘導員の増員や警察との連携など、万全な対応をしたいとのことでしたが、有料化する理由や、乗り合いでの来園を勧めるなどのPR徹底と、自転車やバイク、大型自動車の専用駐車場確保も早急に検討するよう要望しました。さらに、満車時でも周辺地域に影響を及ぼさないよう、車の流れを総合的にシミュレーションする必要があるとの意見も出され、委員会のこれら指摘事項に対し、執行部からは、減免に

常任委員会



健康福祉

福祉部
 福祉事務所
 医療保健センター

生活保護費について活発に論議

「16年度一般会計予算」

福祉企画費では、第2特別養護老人ホーム等高齢者福祉施設に関連して、次のような要望が出されました。
 (1)今後の国庫補助制度の見直しを考え、市と事業主体との間で、市の補助金の負担区分について明確にしてほしい。
 (2)地域交流スペースについて、入所者と市民との交流を図るという目的に沿った内容で運営してもらうために、事業主体に対して、市の要望を担保できる形として整えてほしい。
 (3)地域住民への対応努力を事業主体に要望してもらいたい。
 児童福祉運営費では、委員から、公立保育園に比べ、私立保育園の保育料の滞納が多い理由について質疑を交わし、執



▲平成17年4月開所予定の第2特別養護老人ホーム(予想図)

生活保護世帯に対するケースワーカーの指導体制、実態調査の状況等の質疑を交わし、適正な保護を実施するためにケースワーカーを増員する必要があると要望しました。

市民生活

市民生活部
 水道部
 農業委員会

住民票等の自動交付機は駅前コンビニ等に設置を

「16年度一般会計予算」

戸籍住民基本台帳費では、住民票等の自動交付機の計画について、平成17年度以降に戸籍証明、外国人登録証明、税関係証明書などを検討しているとのこと。

扶助費では、第二種無料低額宿泊所に関連し、当該宿泊所の家賃設定の妥当性や居住スペース等に関して、契約内容と実態との差について質疑を交わしました。

「16年度特別会計予算」
 議案第33号交通災害共済事業特別会計予算については、加入率を高める努力とともに、掛金と給付バランスについて検討するよう意見がありました。

委員からは、今後、自動交付機の増設に当たっては、駅前コンビニ等に設置する方向で検討するとともに、利用の前提となる市民カードのPRと、利用拡大を図るよう意見がありました。

市民相談費では、各種相談事業の实情に基づき、法律相談を週2回にするなど、時代の変化に即応した相談体制を検討するよう意見が



▲低料金でゆったり気分が味わえる保養所「白田の湯」